

H28.11.11 稲生沢中学校学区説明会 概要

日 時 平成 28 年 11 月 11 日（金）午後 7 時から午後 8 時

場 所 下田市立稲生沢中学校体育館

出席者 保護者：16 人

市教委：佐々木教育長、峯岸課長、山梨参事、吉田係長、土屋指導主事、土屋技師、原主事

1 開 会

<係 長>

皆様、こんばんは。ただ今から下田市総合教育会議報告書稲生沢中学校学区説明会を開会します。私は下田市教育委員会学校教育課学校教育係長の吉田と申します。どうぞよろしく願いいたします。初めに教育委員会側出席者の紹介をさせていただきます。

— 市教委側 自己紹介 —

それでは、続きまして佐々木教育長より挨拶を申し上げます。

2 教育長挨拶

<教育 長>

皆様、こんばんは。大変お忙しい中、中学校再編に係る説明会にご出席いただきましてありがとうございます。

この説明会の趣旨でございますが、下田市総合教育会議で検討・協議した内容について説明させていただきます。保護者の皆様からのご意見をお伺いしたく、中学校学区単位に開催させていただいております。10月24日には稲穂中学校学区で説明会を実施し、未就学児の保護者の方を対象としまして、認定こども園や幼稚園・保育所等の説明会も実施させていただきました。

また、市長と語る会を10月17日から昨日の11月10日までの期間、市内6地区で開催しました。市長より、学校再編をトップに庁舎や地域の課題について、話し合いを持ちました。

それぞれの会での、ご意見としましては、通学費や通学方法、そして、1校化になった場合のメリット・デメリット等のご意見を頂きました。

この後、事務局より今日に至った経緯と今後に向けてのスケジュール等の説明をさせていただきます。最後になりますが、教育委員会としまして、下田市の子ども達の未来に向けて「子どもにとって、より良い学習環境創り」をしていきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

3 報告書概要説明

<係 長>

ありがとうございました。それでは早速、報告書の概要説明に入らせていただきます。

<事務局>

— 報告書概要説明 —

4 質 疑

<係 長>

それでは質疑に入らせていただきます。いろいろなご意見を伺わせていただきたいと思いますので、ぜひともご発言いただきますようよろしくお願いいたします。ご意見のある方は、挙手をお願いします。

<課 長>

いきなりご意見をというのは難しい部分があると思いますので、私からこれまでの説明会の中で、主な質問について、少し話をさせていただきます。これまで、稲梓中学校区、民間保育園、幼保こども園にて説明会を開催させていただきました。その中でのご意見としまして、まず今回の再編について全く知らなかったという方がおられました。この会場で全く知らなかったという方はおられますか。(⇒結果：0人)ありがとうございます。また、通学に関する意見も多くいただきました。具体的には、資料にもありますとおり、現行補助制度につきましては、小学生は4km以上に全額、中学生は6km以上に半額、補助金を交付しています。ただし、過去の統合などにより、距離制限のない地域もございます。稲生沢中学校区は補助対象となる子どもがいないため、現在補助は出しておりません。仮に下田中学校となりますと相当な方が対象となり、平成33年度で対象者が90人、バス利用の場合ですと全額で1,076万円。現制度のままですと半額の538万円補助し、残る半分は家庭でご負担していただくということになります。90人ですので、単純計算で1人当たりおおよそ6万円になります。幼保の説明会の時もこの通学に関する質問が最も多くご意見をいただきました。あと学校跡地の問題や教育予算をもっとつけるべきだというご意見も頂きました。

<保護者(女性)>

最短で想定される統合の年度は、いつからになるのですか。

<課 長>

平成33年度以降になり、平成33年度からと仮に再編となりますと今の小学校2年生から4年生が、中学校1年生から3年生になる時になります。最短で平成33年4月1日からとなります。

<保護者(女性)>

再編については既に決定されたことなのですか。

<課 長>

資料の48ページを見ていただきたいのですが、あくまでも今回の報告書の内容において、1校化や候補地については、いずれも「望ましい」とさせていただいております。また、総合教育会議というのは協議調整機関でありまして、決定機関ではありません。よって、市として方向性を示させていただいたということで、決定ではありません。決して、市が一方的に決定したということではなく、今回、説明会など実施させていただいておりますが、多くの方からご意見を伺い、できる限り、この1校化の再編の方向性へそのご意見を反映させていただきたいと考えております。

<保護者(女性)>

一校化が望ましいということですが、今、学区外申請というのが非常に厳しいということを聞いています。私の子どもは小学4年生で再編時中学校3年生になるのですが、統合という理由でそれまでの間、学区外申請を柔軟に対応していただきたいです。仮に下田中となった場合には、中学へ上がると同時に下田中へ通学をさせていただきたいと思っております。

<参 事>

新中学校の候補地については、まだ未定ですので何とも言えない部分はありますが、現行の制度

上、中学の指定校変更は難しい部分があります。小学校は比較的條件が緩やかですが、中学の場合、例えば共働きで家に誰もおらず、下田地区に祖父の家があり、学区を変えることができるというような家庭的枠組みというものがなくなります。確かにそういった部分も検討しなければならないと思いますが、やはり特別な事情（不登校や教育的配慮等）がなければ困難だと考えております。教育委員会としては、急いで統合する先の学校に行くということではなく、やはり再編に向けて、これまで以上に中学校同士の交流活動を多く行い、そういった活動を通じて壁を取り除いていくような計画などを検討していかなければならないと考えています。

<保護者(女性)>

2点ほど確認をさせていただきたいです。1点目は、現在でさえ雨天時など、参観日等、駐車場が車で混乱していますが、1校化になるとそれがより顕著になると思われそうですが何か対策を検討していますか。2点目としましては、仮に稲生沢中学校が新中学校候補地となった場合、新校舎建設や改修工事などで、その時点で通学している在校生に対するストレスは相当なものだと思われそうです。また、統合後、制服やジャージなど、今までのままのジャージを使用するとなった場合、やはり中学校ごとに違いもあり、多感な思春期でもあるのでやはり少なからずそういった部分でもストレスを感じるかもしれません。そういった子どもたちに対するケアをしっかりとしてもらいたいと思います。

<教育長>

まず、1点目につきましては、仮に下田中が新中学校候補地となった場合、駐車場については、近隣に市の施設が多くあるため、それらを活用しながら今後、対策を練っていくものだと思います。また一方、稲生沢中となった場合には、駐車場については場所がないため、まさしくそういったところを検討課題にさせていただきたいと思います。

<参事>

2点目のストレスケアにつきましては、全てのストレスを排除することは、難しいことだとは思いますが、子どもの学習環境を第一に考えた対策を考慮させていただきたいと感じています。制服やジャージにつきましては、例えば、中学校別々であったとしてもなるべく早い段階に同じ制服やジャージにするなど、先を見越した統合準備委員会などの対応もできるのではないかと考えますが、その内容の詳細については、今後決定されるものだと理解しております。

<係長>

今、説明会を開催させていただいておりますが、同時に保護者の方、全てを対象しましたアンケートを実施させていただきます。教育委員会としまして、皆様からの多くのご意見を頂くとともに多くの課題について、今、再編の検討会議というものを設置しており、その中で皆様のご意見を集約、検討させていただき、より良い学校再編に向けて進めていきたいと考えております。教育委員会といたしましても保護者の方のご意見は大変貴重なものであると認識しており、保護者の皆様におかれましても、ぜひともお声掛けをしていただき、多くのご意見をお寄せいただきますようご協力よろしくお願いいたします。

5 閉 会

<係長>

それでは、これを持ちまして、稲生沢中学校学区説明会を終了させていただきます。皆様におかれましては、お忙しい中、長時間にわたり、お疲れ様でした。